

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】特開 2006-115139 (P2006-115139A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-017
 【出願番号】特願 2004-299479 (P2004-299479)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 13 日 (2007.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像のうち補正対象部分を検出する補正対象部分検出手段，

上記補正対象部分検出手段によって検出された補正対象部分に対して色補正および明るさ補正の少なくとも一方の補正を行う補正手段，ならびに

上記補正手段によって補正対象部分が補正された被写体像を，補正された部分が明示されて表示画面上に表示されるように表示装置を制御する第 1 の表示制御手段，
 を備えた画像補正装置。

【請求項 2】

上記補正対象部分が赤目の部分である，請求項 1 に記載の画像補正装置。

【請求項 3】

上記第 1 の表示制御手段が，

補正対象部分を示すマーキングおよび点滅の少なくとも一方により，補正された部分が明示されて表示画面上に表示されるように表示装置を制御するものである，
 請求項 1 または 2 に記載の画像補正装置。

【請求項 4】

上記第 1 の表示制御手段が，

補正対象部分以外の非補正対象部分の色補正，明るさ補正，マーキングおよび点滅のうち少なくとも一つにより，補正された部分が明示されて表示画面に表示するように表示装置を制御するものである，

請求項 1 から 3 のうちいずれか 1 項に記載の画像補正装置。

【請求項 5】

補正前の表示指令を入力する第 1 の入力手段，および

上記第 1 の入力手段から補正前の表示指令が入力されたことに応じて上記補正対象部分

を補正する前の被写体像を上記表示画面に表示するように上記表示装置を制御する第２の表示制御手段，

をさらに備えた請求項１から４のうちいずれか１項に記載の画像補正装置。

【請求項６】

上記補正された部分が明示されて表示される処理の停止指令を入力する第２の入力手段をさらに備え，

上記第１の表示制御手段は，上記第２の入力手段から入力された停止指令に応じて上記明示表示を停止するものである，

請求項１から５のうちいずれか１項に記載の画像補正装置。

【請求項７】

被写体像のうち補正対象部分を検出する補正対象部分検出手段，

上記補正対象部分検出手段によって検出された補正対象部分に対して色補正および明るさ補正の少なくとも一方の補正を行う補正手段，ならびに

上記補正手段によって補正対象部分が補正された被写体像と補正前の被写体像とを同一の表示画面上に同時に表示するように表示装置を制御する表示制御手段，

を備えた画像補正装置。

【請求項８】

上記補正対象部分が赤目の部分である，請求項７に記載の画像補正装置。

【請求項９】

表示画面上に表示される補正後の被写体像および補正前の被写体像の少なくとも一方が，補正部分を含む被写体像の一部である，

請求項７または８に記載の画像補正装置。

【請求項１０】

被写体像のうち補正対象部分を検出し，

検出された補正対象部分に対して色補正および明るさ補正の少なくとも一方の補正を行い，

補正対象部分が補正された被写体像を，補正された部分が明示されて表示画面上に表示されるように表示装置を制御する，

画像補正装置の制御方法。

【請求項１１】

被写体像のうち補正対象部分を検出し，

検出された補正対象部分に対して色補正および明るさ補正の少なくとも一方の補正を行い，

補正対象部分が補正された被写体像と補正前の被写体像とを同一の表示画面上に同時に表示するように表示装置を制御する，

画像補正装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

上記補正された部分が明示されて表示される処理の停止指令を入力する第２の入力手段をさらに備えるようにしてもよい。この場合，上記第１の表示制御手段は，上記第２の入力手段から入力された停止指令に応じて上記明示表示を停止するものとなる。